

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	◎	＊	＊
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン開発により、景気はやや良くなると思われる。
	○	一般小売店〔高級精肉〕 （常勤監査役）	・政府の新型コロナウイルス対策及びワクチンの効果により、将来は景気が良くなると考える。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・国と地方自治体の一体感の醸成による。
	○	百貨店（営業担当）	・変化した生活スタイルに順応しようと、そのための買物を楽しみ始めているように見受けられる。
	○	コンビニ（本部管理担当）	・小売業にとっては、この数か月が新型コロナウイルスの影響の底と認識する。春に向けて気温の上昇とともに新型コロナウイルスの影響は軽減され、今後は小売業にとって売上回復基調を想定する。本来、景気とは世間のあらゆる情勢を勘案し判断すべきと考えるが、今は新型コロナウイルス次第という一本かぶりの景気判断でよいと考える。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新年からの3か月は、例年のようにはいかないが、決算時期と重なりそれなりの動きはあると予想される。
	○	乗用車販売店（従業員）	・自動車の減税が延長になったこともあり、決算時期に重なっていくので、期待したい。
	○	観光型ホテル（経営者）	・暖かくなって今より新型コロナウイルスの感染状況が収まってくると見込まれるため、景気はやや良くなる。新型コロナウイルスが終息に向かわないと、景気回復の兆しは見えない。
	○	住宅販売会社（従業員）	・グリーン住宅ポイントなど税制面の後押しがスタートし、潜在的に考えていた人が動き出すと予想する。
	□	商店街（代表者）	・足元が極端に来客数の少ない状況であり、販売量、売上につながっていない。新型コロナウイルスの感染が落ち着かないと、来客数の伸びは期待できない。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍の終息までは積極的なイベント開催ができない、また、価格表示を税込みで表示しているが、高額商品がより高くイメージされて商談が難しい。
	□	商店街（代表者）	・外出自粛を解除するとたちどころに新型コロナウイルスの感染が広がってしまうため、回復していく道のりはなかなか難しそうである。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、景気は良くなるらない。
	□	一般小売店〔贈答品〕 （経営者）	・ギフト状況は2～3か月先も余り変わらない。法人客は4月の新年度に向かっての展示会やイベントを中止、又は自粛して規模を小さくしているため、ギフト商品の売上は少なくなっており、今の状況と変わらない。個人客においても、付き合う幅を親戚から兄弟だけへと狭くしているため、少人数での法事及び結婚式という状況が2～3か月先も続いていく。このため、今の状況と変わらない。
	□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
	□	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・引き続き新型コロナウイルスの影響は残ると思われるが、例年の新年度向けの受注量は確保できると思われる。
	□	百貨店（売場主任）	・靴メーカーは、売上が余りないため在庫を持ちたくないのか、生産を控えている様子である。クリアランスセールに向けて今ある在庫を全て出すということで、サイズが不ぞろいの商品が多いため、売上に結び付くか微妙である。クリアランスセールの客足もまだ分からないため、売上は厳しい状況が続くと思われる。
	□	百貨店（企画担当）	・11月中旬から新型コロナウイルス感染拡大に伴い、戻りつつあった来客数、売上の減少が顕著となった。この傾向は12月以降も継続しており、国内におけるワクチン接種が確定するまでは、景気回復は見込めないと思われる。
□	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るのに時間が掛かり、その効果も未知数であることに加えて新型コロナウイルスの変異種の拡大も懸念され、景気の不透明感が拭えない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス禍で全国的に新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあり外出は自粛傾向となり、しばらくは現状が続くと思われる。お歳暮やクリスマスケーキやおせちといった年末商戦では、ネットショッピングが大幅に伸長し非来店型にシフトしている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス第3波のダメージがひどく、当分回復しないと予測している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・現在の状況からみても、良くなるとは思えない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルス禍の状況は、しばらくは一進一退を繰り返す、それに伴い客の来店状況も増減を繰り返すと考えられる。ただし、富裕層の購買意欲は依然として衰えておらず、旅行などで消費されていた金が商品購入に振り替えられる傾向は、一定数維持されると考える。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・特効薬ができて新型コロナウイルス感染が収束しない限り、まだ今の状況は続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品開発担当）	・新型コロナウイルス次第で大きく左右されると思うが、今の売上、来客数の状況からみてさほど景気は変わらないと思われる。新型コロナウイルス第1波のときと比較しても、消費は落ち着き、買いだめ等も少なくなっており、現状が続くと感じる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・景気の良い状況は変わらない。新型コロナウイルスはまだ終息しないため、内食、家飲みは継続する。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、家庭需要が増加していると思われる。購買量が多少増加するのではないかと考えるため、景気状況は現状と変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・良くなる兆しも材料も見られない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍が継続するなかでの対応に苦慮するが、冷凍食品や総菜などオリジナル商品の強化により来店時の買上点数を改善することで来客数減少をカバーし、売上を維持する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染が日に日に拡大しており、現状では終息の見込みが立たない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスへの警戒感は持続していると思うが、自重しながら生活することが定着してくるのではないと思う。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・新築や引っ越しでの買換えの見積りが多いが、単価の高い良い商品が選ばれている。特に不安な要素がない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が継続する。雇用の悪化や所得の減少など新型コロナウイルス及び新型コロナウイルス変異種等感染症の影響の収束には、まだ時間が必要とされる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・急激に良くなることも悪くもなることなく、3か月先も余り変わらないのではないかと考える。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・当面は新型車の発表もなく今販売している車を売る形になるが、新型車も行き届いた感もあり、販売台数も鈍化している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・年末年始に行動を自粛することがあれば好転する可能性もあるが、見通しは良くない。業界では繁忙期に入るが、今は新型コロナウイルスが終息してくればという前提でしか、回復の見込みが立たない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	・商業施設の飲食・物販については、中止又は延期でまだ見通しが立っていない物件がある。住宅等のリフォームについては、大きな物件には延期となっており、小さな物件がスタートしているところである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・感染力がこれまでのウイルスを上回る新型コロナウイルスの発生が今後大きな影響を与えようと思うと不安である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（店員）	・大人気コミックの売上も落ち着いてくるとは思うが、単価も高いため、しばらく書店は好調に推移するのではないかと考える。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス0.8%、来客数は前年比マイナス4.8%である。売上は経済対策の効果か盛り返しているが、来客数は新型コロナウイルスの影響で低く推移している。

<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・12月に2年前から予定していた2号店をオープンした。客層は20代が多く消費を支えてくれている。既存店は余り売上の落ち込みもなく営業しているが、政府の緊急事態宣言がまた出されたら、売上は落ち込むと思う。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収まらないと思われる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・県の指示と国の指示が違っている。早く統一して新型コロナウイルスの対策を発信してほしい。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいと判断する。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、このままの状況のような気がする。海外へ仕事だけでなくレジャーで人が動かないと本当に厳しい。国内旅行の個人客だけでは経営が難しいが、大手のように店舗を手放せず困っている。これまでもSARSや9.11などいろいろ乗り越えてきているが、かなり厳しい状況である。支援策を再度考えてほしい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・旅行を実施してもよいケースといけないケースの明示、接触アプリの導入義務化等、Go Toキャンペーンの停止と再開に関連する指標を具体的に示してほしい。また、約1年ほとんど改定されていないガイドラインを早急に改定してほしい。それがなされない限り、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・年始から旅行需要が回復する見込みは全くない。新型コロナウイルス感染が減少していかないと、Go To Travelキャンペーンの一時停止が解除されても旅行を申し込む人はごく一部で推移すると思われる。いっそのこと短期集中で第二次の緊急事態宣言を発出して一気に収束を図ってもらう方が、将来的には観光業にとって有り難い。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが依然として猛威を振っているため、正月三が日も含めて不要不急の移動は避けるようになど、政治家のテレビ演説でもいろいろ厳しい自粛要請が出されている。1～2月も寒い日が続くので、まだまだこれから先も同じ状況が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・これだけ長い間繁華街が静かであると、これから2～3か月で良くなるという動きは見受けられない。新型コロナウイルスの感染が収まらないと難しい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・3か月前に比べて、明らかに客に嫌がられて営業しにくい。新型コロナウイルスの終息を待たないと、客は動かないと思う。
<input type="checkbox"/>	通信会社（サービス担当）	・引越しシーズンになれば、現状のように光回線の申込みが増加すると思われる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・政府がそもそも具体的な対策をできていないように感じる。それに伴って国民も危機感が薄れている。新型コロナウイルスのワクチンも期待されるが、全国に浸透するのはまだまだ先だと思う。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先は、前年同日の予約数と比べるとほとんどのゴルフ場において入場者数が減少している。2～3か月前の早めの予約が多いコンペの数が、新型コロナウイルス感染症のため減っているものと思われる。しかし、今後は個人客が徐々に増えてくると思っている。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・新型コロナウイルスの影響が長引くようである。
<input type="checkbox"/>	美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルス対策のため、外出を控える客がいる。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・明るい話題がないことと、新型コロナウイルスの感染も拡大しつつあるため、景気は徐々にもう少し悪くなると思う。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（職員）	・足元の新型コロナウイルスの状況から考えると、景気が良くなる可能性は全くない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・契約状況は横ばいである。新型コロナウイルス禍のなかでも契約は進んでいる。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度末に向けて、企業の設備投資に伴う改修工事の引き合いが数件出てきている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・不動産賃貸業の繁忙期に突入するが、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、客単価、客足への影響が懸念される。

▲	商店街（代表者）	・最近の新型コロナウイルスの情勢をみていると、世の中の景気が更に悪化しそうな感じがする。中小零細の小売店舗がもう持たないと思う。特に在庫の保存が利かない飲食店は厳しい。
▲	百貨店（総務担当）	・当地域には新型コロナウイルス感染者数に敏感なところもあり、今後も増加傾向となれば、バレンタイン商戦も厳しいことが想定される。また、バーゲンセールや福袋も年末から前倒しで実施しており、1月以降も引き続き売上は厳しい状態が続く。緊急事態宣言という言葉も頻繁に聞かれるような状況であり、休業等の事態は避けたい気持ち日々高くなっている。
▲	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルス関連の給付金等はあるが、今後、倒産等が増えるのではないかと。一方で景気の良い会社も相当数あるように感じる。労働市場の流動化が望まれる。
▲	百貨店（販売担当）	・クリスマス用品などは予想より好調だったが、全体的に来客数が減っており不安である。
▲	百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が一時的にでも収束する見通しが立たなければ、売上は現状から増加する見込みがない。また、給与減少に伴い買い控えが見込まれる。
▲	スーパー（店長）	・緊急事態宣言が出る可能性も含め、通常は安価な物が売れていくと見込む。
▲	スーパー（販売担当）	・食品を多く扱っているが、イベントの減少や季節も寒くなるため客が来店する機会が減り、景気は悪くなると考える。
▲	スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの第3波の影響次第だが、感染リスクが従業員の身の回りにどんどん迫ってきているので、人手不足で店舗の営業停止に追い込まれることを一番恐れている。
▲	スーパー（営業企画）	・冬場の新型コロナウイルス感染拡大の予測もあり、経済の停滞による経営状況の悪化から所得への影響が懸念される。
▲	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえていないので回復基調とは言いがたく、家庭紙のパニック的な購入などが前年実績となるなか、業績が向上しにくい状況である。
▲	コンビニ（店長）	・大都市部で新型コロナウイルス感染の拡大が止まらない。飲食業の営業時間短縮要請の延長や緊急事態宣言が発出されたら、更に影響が出る。
▲	コンビニ（企画担当）	・これから更に気温が下がり、新型コロナウイルス感染者数が増加してくると、外出を控える人や出勤を控えて在宅で仕事をする人が増えることが見込まれる。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの終息がみえない限り、前年比でやや悪い状況が続くと思われる。
▲	コンビニ（店長）	・12月中旬頃までは前年並みに戻ってきていたが、下旬に入ると新型コロナウイルスの感染者数が急増したこともあり、売上も減少している。この傾向は今後も続くと思われる。
▲	コンビニ（店員）	・やや緩やかに来客数が減少傾向にある。
▲	衣料品専門店（売場担当）	・いまだ新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期が見通し難いなか、Go Toキャンペーン等といった政府の景気対策も一時停止している。こうした状況下で生活者は先行きに一層不安を抱き、消費を最低限に抑え貯蓄が優先されるのではないかと考えられる。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・拙速なGo Toキャンペーンにより、新型コロナウイルス第3波が起こってしまった。感染者は増え続け、経済対策と感染対策を両立するという政策の矛盾点は隠しきれないほど大きくなっている。飲食店、病院等はそれぞれの立場から否定的な言動が目立ち始め、統一した自粛政策が取れないのは、専門家に責任を負わせて何も決断できない内閣の責任である。このままの状態が続けば、外食産業はもとより病院、他業種と順番に経営危機を迎えるのではないかと。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・3月くらいまでは新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないと思うので、今より更に消費が落ち込むと思われる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、店舗への来客数が減少すると思われる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・主要都市の新型コロナウイルスの感染状況がこのまま悪化するようだと、地方に住む我々の身の回りにも影響が出てくる。

▲	乗用車販売店（従業員）	・これから年度末の増販期に向かうが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、今年の二の舞に陥りかねないという恐怖感が拭い切れない。一時、感染が収まりつつあったときにはある程度の市場の回復があったように、もう少し新型コロナウイルス関係の話題が収まり、客と前向きな話題ができるよう期待したい。
▲	乗用車販売店（従業員）	・これから明らかに新型コロナウイルスの影響でまた悪くなっていく。もし緊急事態宣言が発出されるようなことがあれば、かなり悪くなり、倒産する会社もかなり出てくるのではないかと非常に心配している。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・もともと1～2月の車の販売は落ち込むため、12月決算と比べれば販売量は落ちてる。
▲	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルス禍の終息がみえないなか、新たな新型コロナウイルス変異種の発生で経済活動の回復にマイナス要素となり、消費マインドは悪化すると思われる。
▲	高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルス感染者数の増加により、外出・会食を敬遠する傾向が続き、業種によって企業の業績悪化が心配され、また、消費者の節約志向が当面は強まると思われる。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、ある程度行き届くまでは上向きに転じないと思われる。過去の経験則は全く通用しなくなる。
▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・ボーナスが前年を下回ったり、これまでの賃金上昇機運がなくなり、将来への不安を口にする消費者が増えた。消費は確実に減ると予想している。
▲	都市型ホテル（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの施策は失敗である。
▲	都市型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、当面ホテル業は難しいと思われる。レストランのデリバリーだけでは、リカバリーできない。
▲	旅行代理店（経営者）	・年明けにワクチンや治療薬が出てくると期待しているが、新型コロナウイルス感染者数の拡大や人の移動が回復から制限へ変わった影響が今後出てくると、交通輸送業やそれに付随する店舗における物販などの売上が減る。既に駅ホームや構内の売店が閉引かれていたり、空港の店舗も半数以上閉めており、回復はいまだ不透明である。
▲	旅行代理店（経営者）	・1月以降の客の動きが全く読めず、受注も少ない。
▲	テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異種も現れて、感染者も過去最高になっている。外国ではワクチン接種も始まり明るい材料もあるが、年末年始に掛けてはGo Toキャンペーン事業も停止となり、来園者も予想より減るように感じる。
▲	観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスに対する政府の方向性がよく分からない。しっかりしてほしい。
▲	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルスの影響で年末年始の経済が動かない。
▲	理美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で客足が遠のいて、段々と景気が悪くなっていくと思う。
▲	美容室（経営者）	・例年、正月過ぎの1～2か月は特に暇になる時期である。1～2月は寒いことと、12月に施術済みの客が多いためである。
▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・冬の寒さが厳しく、新型コロナウイルス感染拡大の状況が影響するのは間違いない。
▲	設計事務所（経営者）	・良くなる材料がない。建築設計以外の図面依頼はあるが一時的なものであり、事務所が成り立つようなものではない。
▲	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの関係で外に出なくなり、不動産全般も冷え込んでいる状況である。
×	商店街（代表者）	・年末年始すら分からない状況で、2～3か月先を読むことは不可能である。最悪を想定して現状を生きるしかない。
×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍の飲食店での飲酒離れで、もともと若者の飲酒離れもあり、販売量は当面回復しないと考える。
×	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・一旦は落ち着いたかにみえた新型コロナウイルス感染が更に心配な状況になり、年が明けた途端に自粛の雰囲気により強くなるように思う。
×	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスへの対応、特にワクチンへの対応が十分ではないと見込まれる。

	×	スーパー（店員）	・以前のように巣籠り特需に向かうのではなく、年末年始の外出控えから節約に向かうのではないかと、店内の様子を見て感じる。
	×	スーパー（支店長）	・新型コロナウイルス第3波の影響がひどくて集客活動もできず、客自体も来店をためらう状況が続いているので、この先も通常の営業活動ができない限り、景気の回復はほとんどないといってよいほど厳しいと思われる。再度、給付金など政府の緊急支援策を望む。
	×	コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。また、企業倒産や失業者の増加から、集客減少や購買単価低下を招くのではないかという危機感が強い。
	×	コンビニ（商品企画担当）	・冬場に新型コロナウイルス感染が拡大するとの見込みから、今後も春先の3月頃に掛けては売上が悪化すると推測する。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	・人の動きがまた止まり始めている。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店長）	・巣籠り準備の需要が通常よりも多く感じられる。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
	×	一般レストラン（経営者）	・良くなる展開が見当たらない。
	×	一般レストラン（従業員）	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出されたら、当地方も打撃を受ける。
	×	観光型ホテル（支配人）	・Go Toキャンペーン停止の影響で2～3か月先の予約もぼつたりと止まり、宿泊客数も前年同期比で2割にも満たない状況である。新年以降も社会的・企業的な行催事もほとんどが中止となり、回復の兆しはみじんもなく全く見えてこない。手の打ちようがなく途方に暮れるばかりである。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・1月11日までの宿泊、宴会、レストラン予約がほぼキャンセルになった後、1月12日以降の予約も入ってこない状態である。全国の新型コロナウイルス感染拡大、英国での変異種発生で今後どうなるかがみえないなか様子見となる。3月からもう1年近くこの状態で、雇用調整助成金も縮小が予定されているなか、経営は先がみえない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策の自粛に伴い、見通しが不明である。
	×	旅行代理店（経営者）	・現在の新型コロナウイルスの感染拡大が続く限り、Go To Travelキャンペーンの再開も難しいと思われるため、2～3か月先も売上がないような状態と考える。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、ますます悪くなる一方である。
	×	通信会社（企画担当）	・テレビ、インターネット共に、巣籠り需要により契約者数は増加してきたが、新型コロナウイルスの影響で一層の先行き不安となり、減少に転じる可能性もある。
	×	通信会社（営業担当）	・先行き不安である。
	×	レジャーランド（職員）	・マイナス要因として、引き続き新型コロナウイルス感染拡大による出控えやGo Toキャンペーン一時停止の更なる延長の可能性も考えられる。学校の冬休みも例年より短いことから、例年の水準より大幅に減少すると見込んでいる。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは難しいと思う。
	×	パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス禍の影響が深刻で、常連客も来店を控えている。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染者がこれからもまだ大分出ると思われる。
	×	住宅販売会社（従業員）	・公共工事の塗装などをしている業者より、年明け間もないところまでの工事はあるがその後の見込みがかなり減っていて、不安であると聞いた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍での経済活動の停滞が秋口までで、何もしなければ先細りと誰もが考え、何とか回復させる努力をした結果が今の状況である。うっかりするとこれを景気の上昇と捉えがちだが、飽くまでも回復であって、元に戻った上でプラスの部分があるかはまだ分からない。
	○	化学工業（営業担当）	・2～3月は更に電材向けの容器販売が増える見込みである。

○	窯業・土石製品製造業（社員）	・車関係の生産回復で、金属材料生産用の消耗品の注文が増えており、しばらくこの傾向が続くと思われる。
○	一般機械器具製造業（営業担当）	・世界の複数市場で引き合いの数が増えてきているので、景気の回復を感じる。
○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・農機具関連は増加傾向、オートバイ関連は減少傾向、液晶関連は増加傾向で、トータルでは前年比90%程度である。
○	建設業（役員）	・新型コロナウイルス次第だが、季節柄、異動の時期や年度替わりが近く例年は客の動きが活発となるので期待したい。
○	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、発送、到着共に大幅に増加している。移動も自粛になり、更に通販が増加すると予測している。
○	通信業（総務担当）	・期待値込みで、また、国民皆の気持ちとして良くなってほしい。観光やサービス分野の持ち直しには人の移動が必須なので、新型コロナウイルス感染が抑えられることが、そのまま景気につながる。
○	新聞販売店〔広告〕（店主）	・徐々に極端な自粛などはなくなっていく。Go Toキャンペーン事業の再開、延長も決まっている。
○	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新型コロナウイルス禍でリモートワークが増えているが、生産性が高まらないことで要員提案の打診が増えてくると思われる。
□	食料品製造業（経営企画担当）	・先行きは分からないが、正月期間中の人の移動が新型コロナウイルス感染拡大につながらないことを祈るばかりである。
□	化学工業（総務秘書）	・景気好転の材料はまだない。安全性が感じられる新型コロナウイルスのワクチンが安定供給されることが目に見えてきたら、景気は好転する。
□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量の見込みが変わらない。
□	電気機械器具製造業（経営者）	・3か月先には新型コロナウイルスの感染が収まり始め、ある程度の売上が見込めるようになるのではないかと考える。新型コロナウイルスのワクチンもあり、客先の業界も全体的に良くなることを期待している。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・余り変わる要素がない。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス禍の影響がどこまで続くのか、またその深度も読めず漠然とした不安感がある。
□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・新型コロナウイルスが終息して航空産業が復活しない限り、ずっと底のままである。
□	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・取引先の自動車メーカーの生産台数が順調に推移すると聞いている。スクラップ市況価格が好調で、前年と比べて1.5倍になっている。
□	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響次第だが、今のレベルが続くと仮定すれば、荷量は大きく変わらないと思われる。
□	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかによる。変わらないというよりは、分からないというべきか。
□	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響による。
□	金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスの状況がみえないなかで、当面不安定な業績が続くとみられる。特に飲食、宿泊、観光等の業種は、光がみえない状況である。
□	不動産業（経営者）	・1月の気象は例年同様に晴れの日が多い予報ではあるが、今後も新型コロナウイルス問題の影響が少なからず続き、出費を控える傾向は継続するとみている。今後も売上の厳しい状況は続くと思われる。
□	不動産業（経営者）	・変わらないとしたが、変異型ウイルスの発生など今後の新型コロナウイルス禍の状況では、どのようになるか予想が付かない。
□	広告代理店（制作担当）	・これから先、テレワーク等も駆使しながらデジタルを活用した広告手段を進めることが必要になってくると思われる。
□	会計事務所（職員）	・雇用調整助成金の受給日数が減ってきているとはいえ、休業は続いている。飲食店も、売上が上がらないので時短要請に応じて補助金をもらおうとしている。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・当社においては3か月ほど先まで手一杯であるが、半年先は不明である。2年半前からの商品開発も、特許の書類を提出するところまでこぎ着け現在は一息ついている。他社からの反応も良く、新しい物をどんどん作成していく。

	▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスの感染拡大第3波の影響がまだまだ続き、2～3か月先の景気は悪くなると思う。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・案件の動きが鈍くなっており、春先からの仕事量の確保がいつもの年ほどみえていない。
	▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・年末に浪費した分、買い控えしそうである。
	▲	建設業（経営者）	・これから日本がどうなっていくのか、今の政府では全く先がみえない。国民は不安で仕方がない。政治家に対しても不安で先がみえない。
	▲	通信業（法人営業担当）	・地元自動車メーカーの生産台数は3か月連続の増加、株価が約30年ぶりの最高値で本年は終了など数字だけみれば景気回復基調にもみえるが、中小、個人経営の経営はひっ迫している。身の回りではそうした声が聞こえ、数字には表れない部分ではまだまだ苦悩している人々がたくさんいる。敏感な主婦は日常、少しでも安いスーパーへ向かっており、財布のひもはまだまだ固い。外食、旅行等は控えざるを得ずステイホームを余儀なくされている。景気はまだまだ落ち込んでいくようにみえる。
	▲	通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス感染は、新種の登場で新たな恐怖のステージに入った。一度回復の兆しを見た後に更なる谷底をみると、人の気持ちとしては果てしない喪失感や失望感が生まれるものであり、この雰囲気、恐怖感のなかで新しい景気上昇の芽を見付けるのは難しいと考える。
	▲	金融業（従業員）	・営業時間規制の強化が予想されており、飲食店に対する不安が影響を及ぼしているという経営者が多いため、将来的な景気にも余り期待できない。
	▲	会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が急速に拡大を続けており、再び景気は先の見通しが立たなくなってきている。ワクチンの接種などで脅威が消えない限り消費活動の低迷などが続き、景気が良くなっていくことはない。
	×	食料品製造業（営業担当）	・取引先の受注量も前年を大きく下回っている。今後の回復は見込めない。
	×	鉄鋼業（経営者）	・原材料高によるメーカーの供給停滞が1月から予想され、全く需要がない状況での値上げは厳しく、品不足による販売量の低下も見込まれる。前代未聞の年始になりそうである。
	×	公認会計士	・新型コロナウイルス禍の第3波の影響で、経済活動の再低下が予想される。借入れ等で急場をしのいでいる会社の破綻や廃業が予想される。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	・来期に向けた人員補強の流れが出てくると思われる。3～4月は派遣契約更新のピークであり、契約満了での入替えや受入れ側の増員などもピークを迎えると考えられる。
	○	アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内の自動車販売台数が前年を超え、苦戦の大手メーカーにおいても前年並みに回復し、最大手メーカー関連は当初計画どおりに3月末までの状況が続く見通しである。ただ、新型コロナウイルス第3波で感染者数が増加し先がみえないため、不安要素は残る。
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数がやや回復傾向にある。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・企業側が新型コロナウイルス禍での採用フローの在り方などを変化させている状況であり、かつ、4月入社を目指して活動する人も引き続き多くなっていくものと想定する。
	□	人材派遣会社（社員）	・この先も予約状況は悪く、良くなる兆しが全くない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第で大きく変わってしまう。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・主要客である自動車メーカーでの新規派遣の引き合いは、1月からの請負取引予算削減分とほぼ相殺され、自分が所属する拠点の稼働率は、2～3か月後も同じ水準を維持する見込みである。
	□	職業安定所（所長）	・自動車関連の受注が戻りつつあるという声も聞くが、製造業も含めて新規求人数は減少が続いており、先行きが見通せない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人人は低迷が続いているが、求職者も減少しており落ち着いている。
	□	職業安定所（次長）	・求人数の増加が見込める兆候や情報が見当たらない。

□	職業安定所（次長）	・新規求人数はほぼ全ての業種で減少している。新型コロナウイルス感染拡大の第3波にあっても極端な求人減少とはなっていないものの、しばらくは減少傾向が続くものと思われる。新型コロナウイルス感染拡大の第3波等による経済停滞が長期化することで、体力のない中小零細企業の倒産等による失業者の増加が懸念される。
□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・次年度採用に向けた学内就職説明会への参加企業数が、前年同期と比べて少ない。
▲	人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響から回復する兆しが見えず、中小企業の体力も限界にあるため、景気は後退すると見込まれる。
▲	人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が拡大しており、終息の時期がみえない。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・海外での新型コロナウイルスのワクチン接種も始まったが、日本ではもう少し時間が掛かる点や変異種が見つかった点なども勘案すると、まだまだ不透明感が強い。
▲	職業安定所（職員）	・航空機産業の受注減少に伴う地域産業への影響が大きい。自動車産業が回復傾向にあるとしても、管内製造関係の航空機産業への依存度は高い。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染者数が増加する。
▲	職業安定所（次長）	・今後も新型コロナウイルス感染拡大の懸念がある。このまま感染者数が増加し続けると、特に飲食店の閉店が懸念され、そうなると離職者の増加が考えられることから、景気はやや悪くなると判断した。
▲	民間職業紹介機関（支社長）	・新型コロナウイルスの感染者数増加が、改めてサービス業に打撃を与えらると思われる。
▲	民間職業紹介機関（窓口担当）	・ここ2か月ほどやや持ち直してきたが、新型コロナウイルス禍で状況が依然見通せず、今まで以上に余力のない企業も増えてきており、派遣の需要も見込めない状況が続いていくと考える。
×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・全世界的な新型コロナウイルスの大流行が収まる気配がなく、日本でも感染者数が増加するばかりで、より強力な自粛要請が出る可能性がある。
×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・景気の悪化はまだしばらくは続くと感じる。